

病害虫発生予察注意報第5号

令和6年7月16日

三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が多い状態が続いています。
園内で飛来を確認した場合は薬剤防除を行ってください。**

- 1 対象作物 : ナシ、ブドウ、かんきつ類、カキ等果樹類
- 2 対象病害虫名 : 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
- 3 発生地域 : 県内全域
- 4 発生時期 : 7月～10月
- 5 発生量 : 多
- 6 注意報発令の根拠
 - (1) 予察灯 (畑・松阪市) における6月第6半旬から7月第2半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは2,085頭 (平年441頭)、ツヤアオカメムシでは528頭 (平年83頭)、クサギカメムシでは622頭 (平年60頭) と、いずれも過去10年で最も多い状況です (図1、図2)。
 - (2) 予察灯 (御浜町) における6月中旬から下旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは4,323頭 (平年5,441頭) であり、過去10年間で3番目に多い状況です。ツヤアオカメムシでは385頭 (平年94頭) と多い状況です (図3、4)。
 - (3) フェロモントラップにおける6月第3週から第4週のチャバネアオカメムシの誘殺数は、山地 (津市白山町川口) では1,786頭 (平年592頭)、中間地 (津市白山町二本木) では1,519頭 (平年752頭)、平地 (松阪市嬉野川北町) では348頭 (平年98頭) といずれも多い状況です。
 - (4) 御浜町に設置したフェロモントラップにおける6月下旬のチャバネアオカメムシの誘殺数は957頭 (平年227頭) と多い状況です。
 - (5) ナシ、ブドウ、かんきつ類の一般園地では県内全域で飛来が確認されています。
 - (6) 気象庁の1か月予報 (7月11日発表) では、気温は高い見込みであり、果樹カメムシ類の活動が活発になる可能性があります。
- 7 防除の注意事項
 - (1) 飛来数は、園地による差が大きい傾向があります。夜間の照明等への飛来を

参考にし、園地を見回り、飛来を確認したら防除を行ってください。

- (2) 過去に飛来が多かった園地では特に注意してください。
- (3) 近隣園地と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (4) ナシ、ブドウ等収穫期間近の品目では、収穫前日数に注意して散布を行ってください。
- (5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は農薬情報検索システム、三重県農薬情報システムで調べることができます。

農薬情報検索システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

三重県農薬情報システム：

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/mie>

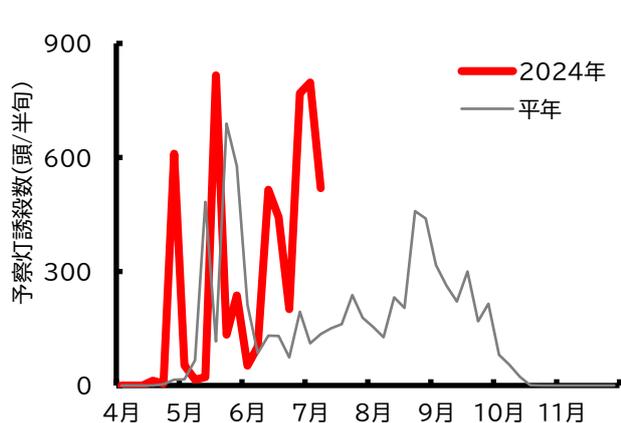


図 1. 予察灯（松阪）における
チャバネアオカメムシ誘殺数推移

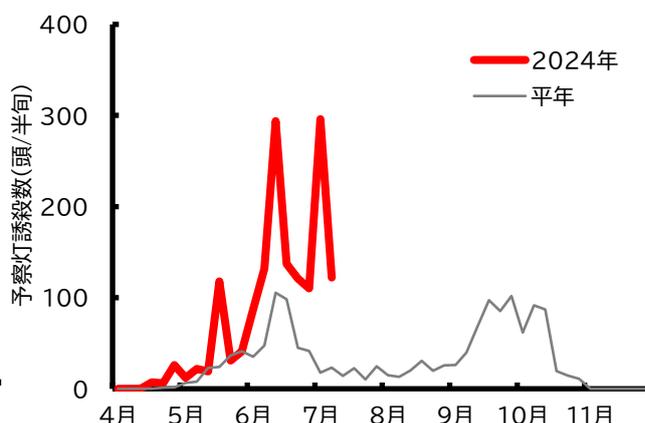


図 2. 予察灯（松阪）における
ツヤアオカメムシ誘殺数推移

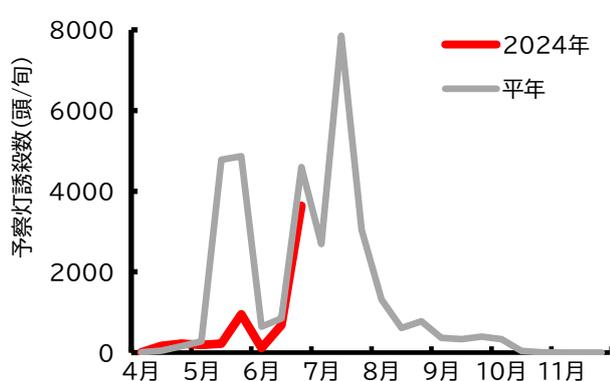


図 3. 予察灯（御浜町）における
チャバネアオカメムシ誘殺数推移

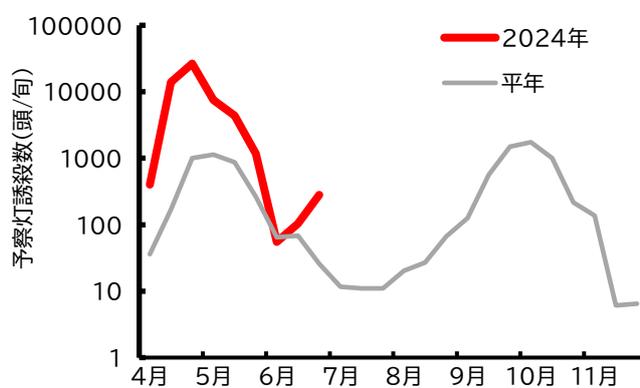


図 4. 予察灯（御浜町）における
ツヤアオカメムシ誘殺数推移
※縦軸は対数表示

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。